

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-1

局・課名： 消防局・救急救助課

事業名	救急体制の拡充整備事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額	
			96,232	62,660	61,501	
<p>【目的】 救急救命士及び救急隊員の医学的知識・技術を維持向上並びに救急活動の円滑なる運用に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 平成27年7月、堺市立総合医療センター敷地内に併設した救急ワークステーションを救急救命士及び救急隊員の教育の拠点とし、救急隊への教育を強化するとともに、病院側と連携し病院前救護体制(ドクターカー運用を含む)をより充実させるもの。 ・ドクターカー24時間運用に向けた調整 ・メディカルコントロール体制の充実強化(救急救命士及び救急隊員への医師による指示・指導・助言、救急活動の事後検証、病院実習を含む再教育など) ・災害拠点病院(堺市立総合医療センター)との連携強化 ・気管挿管病院実習派遣先病院の新規開拓 ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・認定救急救命士の養成(薬剤投与、気管挿管、ビデオ挿管、心肺停止前の重度傷病者への静脈路確保、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与) ・救急搬送と受入れの円滑化</p> <p>【今年度要求のポイント】 堺市立総合医療センターに併設した救急ワークステーションを拠点とし、救急救命士及び救急隊員教育として、救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、救急活動訓練、医師・看護師との合同研修会などを行い、顔の見える関係を構築し、連携を図るほか、確かな技術を習得し、救命率の向上につなげる。 平成29年度から大阪府において指導救命士制度が開始されるため、指導救命士を育成し、教育体制を充実させる。</p>	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	H ~ H					
	主要要求内容		(単位:千円)			
	項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等		
	救急活動事後検証等謝礼金等	3,606	3,292	救急活動事後検証に伴う医師謝礼金等		
	救急救命士養成等	22,479	24,669	救命士養成旅費、負担金等		
	救急安心センター運営負担金	18,191	18,540	人口割及び財政規模割等により算出		
	救急ワークステーション運営負担金	18,384	15,000	施設維持管理経費等		
	合計	62,660	61,501			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
<p>【経過(～28年度)】 ・救急ワークステーション設立・運用開始 ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・救急救命士及び救急隊員の教育・訓練の充実強化 ・救急救命処置範囲の拡大への対応</p>		<p>【29年度】 ・救急ワークステーションを拠点とした教育体制の充実強化(救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、医師・看護師との合同研修会の実施、救急活動訓練の実施など) ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・救急救命処置範囲の拡大への対応 ・災害拠点病院との連携強化 ・救急搬送と受入れの円滑化</p>		<p>【今後予定(30年度～)】 ・救急ワークステーションを拠点とした教育体制の充実強化(救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、医師・看護師との合同研修会の実施、救急活動訓練の実施など) ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・救急救命処置範囲の拡大への対応 ・災害拠点病院との連携強化 ・気管挿管病院実習派遣先病院の新規開拓 ・救急搬送と受入れの円滑化</p>		
その他 特記事項						
<p>関連事業：</p>						